

ジャクサうちゅうかがくけんきゅうしよ  
JAXA 宇宙科学研究所

◆<sup>なに</sup>ここでは何をしているの？

ここでは、宇宙の構造やその起源をさぐるために大気の外に出て行う天文観測、地球を含む太陽系の生い立ちをさぐる太陽系科学、宇宙空間でさまざまな実験を行う宇宙環境利用科学、新たな宇宙への可能性を切り開く宇宙工学などの研究をしています。

また、<sup>だいがくきょうどうりようきかん</sup>大学共同利用機関として、日本の宇宙科学分野の研究・教育の中心としての役割をはたしています。

<sup>え</sup>得られた成果は日本国内だけでなく世界中に発信しています。



◆<sup>なんにん</sup>何人ぐらいが働いているの？

<sup>さかみはら</sup>相模原キャンパスに在勤の職員数は413名(うち教育職が126名)です。ここでは宇宙科学研究所や宇宙教育センター、契約、財務、施設部門の職員の他に<sup>だいがくけんきゅうしや</sup>大学研究者、<sup>だいがくいんせい</sup>大学院生、<sup>がいにく</sup>外国の研究者、メーカーの人たちも働いています。(人数は2016年5月現在)

◆<sup>さいきん</sup>最近の主な成果は？

2015年12月には、金星探査機「あかつき」が金星周囲軌道に入り、日本で初めての地球以外の惑星を周回する人工衛星になりました。小惑星探査機「はやぶさ2」は地球スイングバイを行い、2018年に小惑星Ryuguへの到着を目指し航行中です。小型衛星「れいめい」によるオーロラを明滅させる電波「コーラス」の観測、惑星分光観測衛星「ひさき」による木星オーロラの観測など、世界をリードするような成果をあげています。また、<sup>さいしよかんそく</sup>再使用観測ロケット技術実証エンジン試験を行い、<sup>ようきゅう</sup>要求される機能・<sup>せいのう</sup>性能・<sup>じゆみやう</sup>寿命・<sup>さいしよせい</sup>再使用性を実証しました。

◆<sup>けいかく</sup>これからの計画は？

<sup>きょうかがた</sup>強化型イプシロンロケットで<sup>うちあ</sup>打上げるジオスペース探査衛星(ERG)、<sup>たんとく</sup>国際水星探査計画BepiColomboなどがあります。

◆<sup>しよちよう</sup>所長から一言

宇宙科学研究所へようこそ。所長の常田佐久です。みなさまのご支援のもと、2015年には「はやぶさ2」の地球スイングバイや「あかつき」の金星軌道投入を成功させることができました。一方、ASTRO-Hの運用断念により、皆さまの期待や信頼を損なうこととなり、忸怩たる思いです。今後、宇宙研の信頼回復に努めてまいります。特別公開では、打上げの近づいているミッションや、現在計画中の将来のミッションも紹介しています。宇宙研の「今」と「これから」をどうぞご覧ください。



◆<sup>うちゅう</sup>なぜ宇宙を研究するの？

宇宙科学は我々に何をもたらすのでしょうか？それは宇宙の謎を解明するだけではありません。この地球をとりまく広大な宇宙を探るといことは、<sup>じつ</sup>実は宇宙に満ち溢れる謎に迫ると同時に我々の住む地球のことを探ることにもつながるのです。すなわち、地球環境問題の解決にも大きく貢献しますし、将来の新技術・産業の創出にも役立ちます。人類社会の発展を担う次世代の人材を育てることや、国際社会への貢献にも関わってきます。それらをふまえて、さまざまな研究活動、教育活動を行っています。

◆もっと詳しく知りたい人のために  
<http://www.isas.jaxa.jp/>